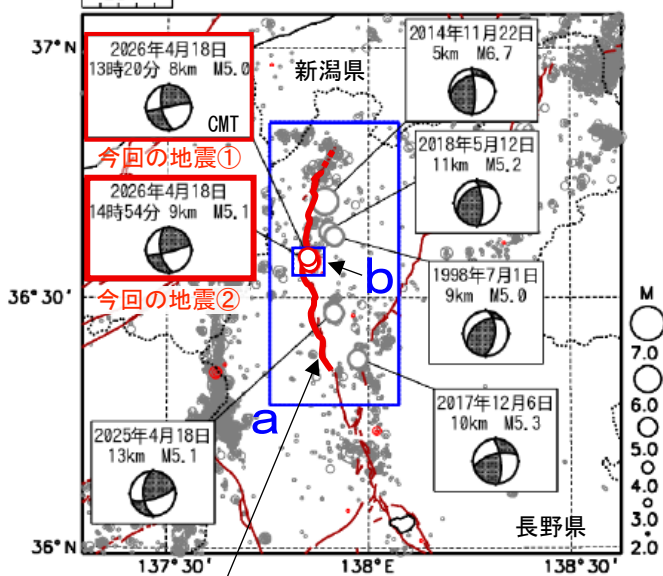


4月18日 長野県北部の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2026年4月30日、
深さ0～20km、M \geq 2.0)

2026年4月の地震を赤色で表示



糸魚川-静岡構造線
断層帯 (北部区間)

図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

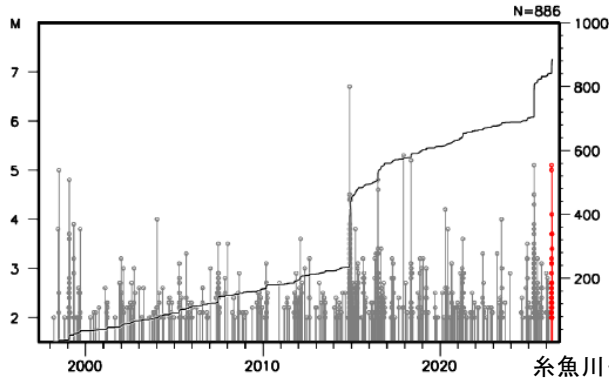
2026年4月18日13時20分に長野県北部の深さ8kmでM5.0の地震(①、最大震度5強)が発生した。また、同日14時54分にも、長野県北部の深さ9kmでM5.1の地震(②、最大震度5弱)が発生した。これらの地震は地殻内で発生した。これらの地震の発震機構は、北西-南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

今回の地震の震央付近(領域b)では、4月中に震度1以上を観測した地震が37回(震度5強:1回、震度5弱:1回、震度3:7回、震度2:6回、震度1:22回)発生した。また、これらの地震により住家一部破損104棟の被害が生じた(2026年4月27日14時00分現在、総務省消防庁による)。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域a)ではM5.0以上の地震が時々発生している。2014年11月22日にはM6.7の地震(最大震度6弱)が発生し、負傷者46人などの被害が生じた(被害は総務省消防庁による)。

1885年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M5.0以上の地震が時々発生している。このうち、1918年11月11日にはM6.1とM6.5の地震が発生し、家屋全倒6棟などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域a内のM-T図及び回数積算図

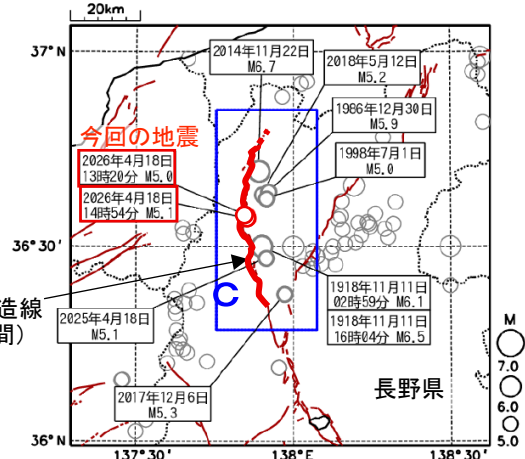


糸魚川-静岡構造線
断層帯 (北部区間)

震央分布図

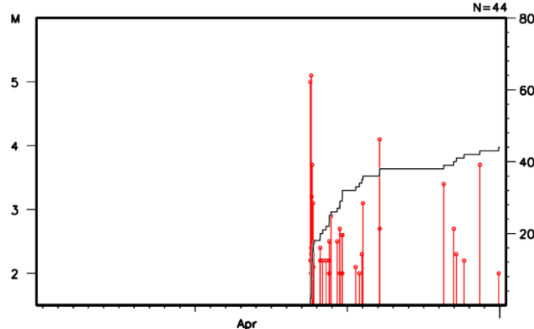
(1885年1月1日～2026年4月30日、
深さ0～50km、M \geq 5.0)

2026年4月の地震を赤色で表示

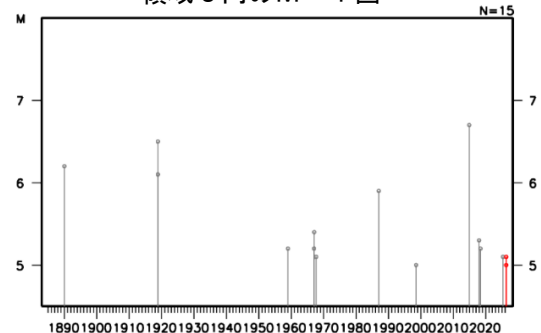


図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

領域b内のM-T図及び回数積算図
(2026年4月1日～30日、M \geq 2.0)



領域c内のM-T図



気象庁作成